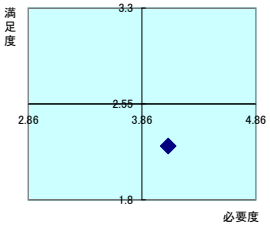
平成 22 年度　2次評価（基本施策評価）シート

基本施策名	7	老後の生活や低所得者の自立を支える	評価責任者（基本施策主管課長）	介護高齢福祉課長 植田　美由喜

基本施策の現状分析及び意図

基本施策の体系		
	基本目標	安心･安全
	政　　策	必要なときに支えがある安心なまちづくり

		②左記結果に対する現状分析・市民との協議結果
① 市民意識調査結果		市民意識調査では、必要度は平均より高く満足度はかなり低い。
③ 基本施策の現況と課題	現在の社会経済状況の中で、低所所得者は高齢者に限ったものでなくなっているが、年金のみに生活を依存している高齢者は多い。 また、医療保険、介護保険が天引きされその負担も大きいものとなっている。 その上、介護状態になればさらに負担は大きくなる。	
④ 基本施策の意図、今後の展望	高齢者の生活を支える労働世代が減少し、その負担が増す一方で、年金で生活する高齢者の収入も十分でとはいえない。 中でも、長期の介護状態で施設介護を受けることなく、在宅で介護を受ける場合の過大な負担を緩和し、一定の生活を保ちまた向上させるための助成が必要である。	

⑤基本施策指標の検討・設定

現況の課題、意図、今後の展望のキーワード	考えられる基本施策指標候補	重点化
長期の在宅介護	寝たきり高齢者が多い	1

	基本施策指標名		単位	過年度実績 H20	過年度実績 H21	評価年度 H22	目標値 H25	目標値 H30	ベンチマーク	指標の説明
1	寝たきり高齢者福祉手当受給者数	目　標	人	190	215	220	240	290		
		実　績	人	208	211					
		達成率	%	109.5	98.1					
		目　標								
		実　績								
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!					
		目　標								
		実　績								
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!					
		目　標								
		実　績								
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!					

⑥基本施策構成事務事業の評価

	基本施策を構成する事務事業名 担当課	ＩＤ	事業名	改善余地の有無	事業費（人件費込、単位：千円） H21 決算額	H22 予算額	H23 所要額	重点化
1	健康福祉部 介護高齢福祉課	262	寝たきり高齢者等福祉手当支給事業	有	9,234	8,523	9,340	○
2	健康福祉部 介護高齢福祉課	263	外国人高齢者福祉給付金支給事業	無	1,800	1,920	1,800	
3	健康福祉部 保険年金課	333	医療費助成事業(単独分)	無	12,048	11,489	12,160	
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
	（　以下　　続紙　）							
	事業費　合計				23,082	21,932	23,300	

⑦　⑥以外で、目標達成に必要な事業

事業名	事業主体	事業内容等

⑧　基本施策の現状分析に基づく改革案の説明

評価視点	評価コメント
1　基本施策指標の分析	老人福祉施設整備状況により、施設に入所して介護を受けることができる人数は限定される。 一方増え続ける介護が必要な高齢者を、この福祉手当により生活程度を悪化させることなく在宅で介護される人数は、地域で支えられる人数でもある。
2　事業構成の適当性（手段として最適か？）	老後の低所得で介護経費のかさむ不安な生活を支援する事業であり、寝たきり高齢者を介護している人に対しても介護費用の軽減が行われ、在宅介護に携われることができる。
3　役割分担の妥当性	寝たきり高齢者が長期の介護状態で施設介護を受けることなく、在宅で介護を受ける場合の過大な負担を緩和し、一定の生活を保ちまた向上させるための助成が必要である
4　総合評価（今後の展開、事業の見直し等）	一般的に高齢者はその生活を年金に頼りがちである。寝たきり高齢者の介護の負担が大きいにせよ長期の寝たきり高齢者すべてに所得制限無しに助成していることなどから、高齢者であっても一定の所得制限が必要。